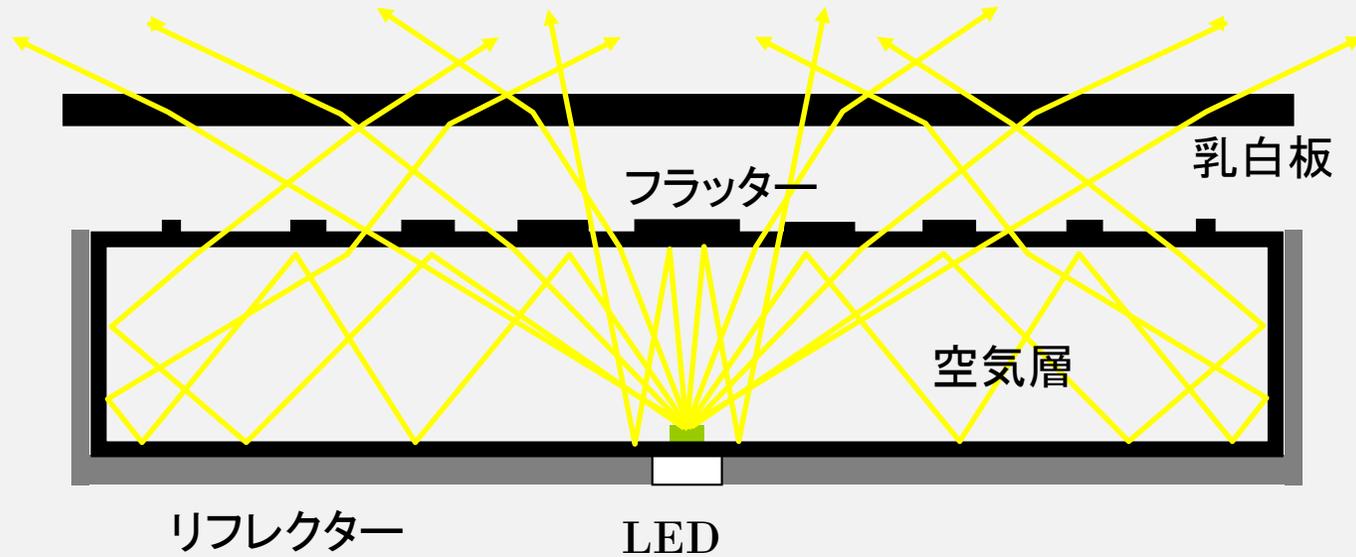


UniBriteの構造

点光源であるLEDを直近で光の均一化に変換フラッターという光学素子の開発を行いました。



LEDの直接光を反射させ光の多重拡散反射を起こさせる。



光は、空気層の中を伝播して広がるため光の減衰がない。



光をフラッター(高効率反射ボックス)内でミキシングさせ、なお且つ発光面に光を取出す。

取出し効率 85%~90%

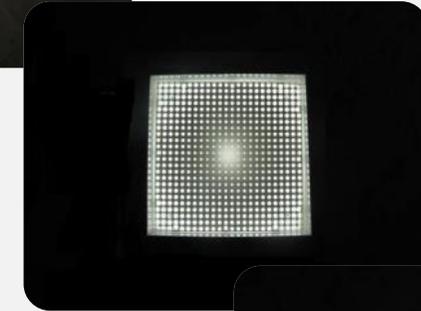


乳白板の位置では、光の照度は、均一光となっており、乳白板は目隠し。

光拡散なし



フラッターで光拡散



拡散板をプラスし面均一化



LEDを直下に配置し光の拡散を促し尚且つ光を取出す技術として光が抜ける穴を無数に空ける。これにより、点光源がいくつもできるようなイメージになり、面光源としての発光を行う。サイドエッジ型のシボ面と正反対な技術になります。

株式会社オプトデザイン

神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21さがみはら産業創造センター1-103

■ユニブライツ事業部

TEL:042-770-9779 FAX:042-770-9778

HP:<http://www.opto-design.com/>